

郵便事業株式会社のヒアリングで説明をお願いしたい事項(案)

I データ関連

- 1 現在、入手できる会計データ（勘定科目）の一覧
- 2 民営化前後で会計システムが変更になっているが、上記、勘定科目で費用の範囲が異なっているものはあるか？
- 3 固定資産管理システムの管理はどのようになっているか？（4会社の分計、目的内外の分計の現状）

II 分計の現状

- 1 目的内外分計、役務別分計の分計作業の年間スケジュールと使用している勘定科目とドライバー一覧
- 2 民営化前後で配賦に関する勘定科目で変動はあるか？
- 3 収益及び費用にかかるドライバー（以下「ドライバー」という。）の設定はどのように行っているのか？（基本的考え方と実際の選定作業）
- 4 見直しを行う場合は、どのような場合に行うのか？社内の内規レベル等で、分計の整理方法の制定（見直しを含む）は担保されているか？
- 5 複数配賦基準（固定費と変動費を分離して別々のドライバーを用いて分計）を用いているものはあるか？あるとしたら、その具体例
- 6 ドライバーを設定する際、財務データ以外のデータを用いるときには、支店等で調査を実施すると思うが、その調査はどのような時期に、どの程度の規模で行われているのか？
- 7 収益と費用について、推計を用いているものはどのような勘定科目か？その際、どのような推計方法を行っているのか？
- 8 目的内外業務の分計にかかる監査はどのような観点から行われる監査か？
- 9 郵便事業株式会社が考える現状の分計の問題点は何か？

III 他業務・会社との取引の把握の現状

- 1 他のグループ内会社との間や、目的外業務と目的内業務間で役務を提供した場合、目的内外の業務の収益・費用を管理しているか？（グループ内会社間は連結のために必要であるので把握はしている？）もし、管理している場合、どのような収益額を計上しているか？
- 2 子会社と郵便事業株式会社間の役務の提供を行った場合、会計分離の観点からは、どのような収益・費用を郵便会社側では認識・測定をするのか？（民々ベースの契約の内容を問題とするのではなく、管理会計上の処理方法を把握したい）
- 3 上記以外に、財務会計上の収益・費用の認識・測定額を、管理会計上、修正している例はあるか？（管理会計ベースにおいて、実際の収益・費用の額を別の収益・費用の額に修正している例はあるか？）

IV 支店等の状況

ドライバー設定のため財務データ以外のデータ収集のための新たな調査を行う場合、支店等上で問題となる点はどのようなことか？